

# 緊急防災ミーティング

<ミーティングメモ>

東日本大地震はマグネチュード M9、阪神淡路大地震は M7.3 関東大震災は M7.9 でした。  
過去1200年の間に関東では、M7.5以上が7回発生。(400年の間に全国で18回発生)  
(想定) 今回予想されているのは東京湾北部直下型 M7.3 (中央防災会議) (M1 違うと32倍)  
地震調査委員会 30年以内にM7クラスの大地震が70%の確立で(東大4年以内50%)  
東京都(4月18日新聞) 焼失する建物が最も多いのは大田区、被害想定を拡大  
※想定外のことも・・・(津波、原子力発電所、コンビナート、帰宅困難者、財政破綻)  
※正常性バイアス・・・安心していたいので危険なことを認めたくないという気持ち

## 今回の防災ミーティングの目的は

想定内の災害に、個人での備え(自助)を重視したものです。その為に自宅、地域といった面と30分後、3時間後といった時間軸を図面に表して検証し、今後の備えに活かしていくことです。  
はじめに、わが町の防災体制(共助)はどうなっているのかを、皆さんで共有していきます。  
自治会のしおり(改訂版)を確認してください。

防災マップ	初期消火のための消火器、防火水槽(消火栓)と消火ポンプ、避難所
災害対策本部規約	自治会の防災体制
自治会防災基本計画	大地震発生時の具体的行動要領
避難所マニュアル(抜粋)	



図上防災訓練の前に・・・自宅での確認事項(まずは自分の身を守るために) 家族間の約束  
お互いが助け合うために地域を知ることが重要です。

地域毎に分けて、危険箇所の点検、災害時要援護者、一時(長期)避難所などを確認  
(自治会周辺の地図にマーカーやポイントを使って書き込み)  
ここでビデオ(10分程度)により実際の災害発生をイメージ  
図上で、具体的な危機が発生、これをみんなで対応  
(強風による火災延焼、がけ崩れや塀の倒壊による避難経路の遮断)



## ミーティングを終えて

訓練は以上でした。ここで確認した地域の現状について再度、自分の足で見渡してください。  
自宅での点検(もう一度点検、時々点検)  
寝室にスリッパか靴(割れたガラスで足を守る)、メガネ、着替えは必須です。  
ドアを邪魔するものはありますか。  
家族間の約束は出来ていますか?(電話は通じませんよ・・・)

ご近所での点検 (やっぱりご近所の絆が大切です)

初期消火は有効です。身近な街灯消火器を確認してください。(粉末型と強化液型があります)

助けてもらえる方はいますか・・・・・・・・・・・・・・・・

